

農業試験場水稻試験圃の生育状況(令和4年)

農業試験場八重森圃場(標高334m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか			
		前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差	前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差	前年(R3)	平年	本年(R4)	平年差
移植後 20日	主稈葉数(枚)	5.9	6.5	6.1	-0.4	6.0	6.6	5.9	-0.7	5.9	6.2	5.6	-0.6
	草丈(cm)	28	27	24	89%	29	30	27	90%	28	28	24	86%
	茎数(本/m ²)	227	209	221	106%	185	237	224	95%	221	224	211	94%
移植後 30日	主稈葉数(枚)	7.8	8.2	8.3	+0.1	8.1	8.2	8.2	±0	8.0	7.8	8.1	+0.3
	草丈(cm)	36	35	34	97%	39	39	37	95%	34	33	30	91%
	茎数(本/m ²)	500	413	549	133%	463	472	576	122%	519	449	551	123%
移植後 40日	主稈葉数(枚)	9.0	9.5	9.9	+0.4	9.2	9.6	9.8	+0.2	9.1	9.4	9.6	+0.2
	草丈(cm)	47	46	55	120%	47	50	57	114%	41	40	49	123%
	茎数(本/m ²)	644	601	659	110%	639	642	699	109%	721	691	759	110%
幼穂形成期	期日(月日)	7/7	7/7	7/6	-1	7/14	7/12	7/13	+1	7/17	7/17	7/18	+1
出穂期	期日(月日)	7/27	7/27	7/27	±0	8/5	8/4	8/6	+2	8/8	8/8	8/9	+1
成熟期	期日(月日)	9/6	9/6	9/6	±0	9/17	9/14	9/16	+2	9/24	9/22	9/22	±0
	稈長(cm)	80	85	87	102%	89	94	96	102%	77	80	85	106%
	穂長(cm)	18.7	18.6	18.4	99%	19.4	18.7	18.6	99%	18.2	17.7	17.6	99%
	穂数(本/m ²)	482	468	530	113%	451	483	423	88%	445	477	421	88%
	玄米重(kg/a)	65.3	67.7	63.5	94%	63.2	63.7	64.5	101%	67.4	72.7	69.1	95%
	千粒重(g)	22.1	21.7	21.8	100%	21.4	21.3	22.0	103%	21.6	21.7	23.1	106%

移植期:令和4年5月20日、苗質:中苗、移植法:1株3本手植え、栽植密度:22.2株/m²(30cm×15cm)
 平年対比は平成27年～令和3年の収量の最多、最小年を除く7中5年の値との比較値。

玄米重は1.85mm篩データを使用。

<概要>

移植後20日の生育は、全体的に草丈はやや短く、主稈葉数がやや遅れている。移植時の苗の草丈、葉数が例年よりやや遅れていたことが影響したと思われる。茎数は平年並みである。

移植後30日の生育は、移植後20日時点での遅れが回復し、主稈葉数、草丈は概ね平年並みとなった。茎数はいずれの品種も平年より増加している。

移植後40日の生育は、6月5～6半旬が平年より大幅に高温(平均気温で+5℃程度)であり、主稈葉数、草丈、茎数ともに進んでおり、特に草丈が長い傾向にある。

幼穂形成期は、「あきたこまち」で1日早く、「コシヒカリ」で1日、風さやかで1日遅かった。

出穂期は「あきたこまち」で平年並み、「コシヒカリ」で2日、「風さやか」で1日遅かった。

成熟期調査では、いずれの品種も稈長はやや長く、穂長は平年並みであった。穂数は「あきたこまち」がやや多く、「コシヒカリ」、「風さやか」はやや少なかった。成熟期は「あきたこまち」と「風さやか」は平年と同日、「コシヒカリ」は2日遅かった。

玄米重は、平年に比べ「あきたこまち」は94%、「コシヒカリ」は101%、「風さやか」95%であった。千粒重は平年に比べ「あきたこまち」は同等、「コシヒカリ」が103%「風さやか」が106%であった。